

JFおおいた蒲江加工センターが竣工



昨年6月に起工した「蒲江加工センター」は、14カ月の工期を経て24日に竣工を迎えた。県漁協は10時から畑野浦の現地で竣工式を、12時半から佐伯市のホテル金水苑で落成祝賀会を挙行了した。

竣工式には水産庁の藤田次長、大分県の佐藤知事、佐伯市の田中市長、全漁連の坂本会長や工事関係者、漁協関係者など約80名が出席した。施設内に設けた会場で神事を行ったのち式典に移り、施主の中根組合長は「工事関係者の尽力と地区住民の理解で無事に竣工を迎えた。最新の設備で質の高い産地加工を推進し、皆様の負託に応えたい」と挨拶した。代表者がテープカットを行ない、県漁協高橋経済事業部長、橋本販売課長の説明で施設を内覧した。



少人力かつ海外向け衛生基準に対応した施設として整備

海づくり大会開催へ カウントダウン

大分駅前で100日前イベント



11月に本県で開催される「第43回全国豊かな海づくり大会～おんせん県おおいた大会～」の100日前イベントが2日、JR大分駅北口駅前広場の特設会場で行われた。

主催者である実行委員会の尾野賢治副知事、中根隆文組合長と大会ナビゲーターを務めるglobeのKEIKOさん、マーク・パンサーさんが登壇。カウントダウンボードに点灯し、トークショーをおこなった。スペシャルゲストのAMEMIYAさんは、県産魚の日をPRするオリジナルソングを披露した。（▽3頁参照）

落成祝賀会には国、県、市の議員や養殖業者、流通業者などの関係者も加わり、約200名が出席した。中根組合長の式辞、田中市長の地元代表挨拶に次いで、佐藤知事、衛藤征士郎代議士、藤田次長、坂本会長から祝辞をいただいた。（2面へ）



フィレ加工を主体としながら、ロイン、グラムカット、冷凍品など幅広いニーズに対応

JF大分

水産おおいた

発行元
大分県漁協

<http://www.jf-oita.or.jp/>



2 面
竣工式



落成祝賀会



3 面

100日前イベント



4 面

運営委員長会

理事会

JFMB県会議

5 面

水研だより

6 面



JFおおいた蒲江加工センター竣工式

施設内観



テープカット



神事



(1面から)次いで、県漁協の新川参事が工事経過を報告したのち、施主の中根組合長から施工業者3社に感謝状を贈呈し、代表して谷川建設工業株式会社社の谷川憲一会長から謝辞を受けた。代表者が鏡開きを行い、岩屋毅代議士の音頭で乾杯して祝宴に入った。

本県の養殖業に関わる生産流通、販売等の代表者が一堂に会する場となり、現行の米水津と新たな蒲江の2拠点加工や高次加工、また輸出への対応など、様々な情報交換が行われた。翌25日からは佐藤知事、田中市長共々中根組合長は台湾での県産品フェアにも出席することとなり、県産養殖プリの輸出についても大きな転期を感じさせた。

最後に本県水産物の流通・販売に多大なご尽力をいただいている株式会社マルイチ産商の柏木康全社長の万歳三唱をいただき、お開きとした。



JFおおいた蒲江加工センター落成祝賀会



式辞 中根組合長



地元代表挨拶 田中市長



祝辞 佐藤知事



祝辞 衛藤代議士



祝辞 藤田次長



祝辞 坂本会長



工事経過報告 新川参事



謝辞 谷川会長



200名が出席



感謝状贈呈 谷川建設工業株式会社



鏡開き



感謝状贈呈 西日本インダ株式会社福岡支社



乾杯 岩屋代議士



感謝状贈呈 パシフィックコンタクト株式会社九州支社



万歳三唱 柏木社長

第43回全国豊かな海づくり大会～おんせん県おおいた大会～ 100日前イベント

カウントダウンボード点灯式



尾野副知事、中根組合長、globeのKEIKOさんとマーク・パンサーさん、そしてガールスカウト大分連盟の皆さんが登壇。恋塚秀和JR大分駅長の「出発！点灯！」の合図でボタンを押し、カウントダウンボードに点灯した。

ボードは駅構内に展示された。



大会ナビゲーターKEIKOさん、マーク・パンサーさんトークショー／中根組合長、県産魚をPR

トークショーでは、県内各地取材したマークさんが海洋科学高の取組などを紹介。中根組合長は大分が誇るハモやかぼす養魚の魅力をPRした。ハモかつを試食したマークさん、「これは美味しい」と絶賛だった。



AMEMIYAさん県産魚の日をPR



「ハモかつ」無料配布



次いでステージに上がったのはスペシャルゲストのAMEMIYAさん。「冷やし中華」ならぬ「おおいた県産魚の日」ははじめました♪と熱唱し、毎月第4金曜日の「おおいた県産魚の日」を来場者にアピールした。

イベント終了後には「ハモかつ」の無料配布に来場者の列ができた。

当日は大分七夕祭りの初日で府内戦紙が開催された。大分市職員互助会は海づくり大会の開催を記念し、「関あじ・関さば」を始めとした豊かな水産物モチーフにした「山車」を製作し、カウントダウンイベントに花を添えた。

府内戦紙に登場！大分市職員互助会の山車



コンプライアンスの遵守を！

令和6年度 第1回 運営委員長会議



全漁連
杉田参事

7月30日、令和6年度の第1回運営委員長会議を水産会館で開催した。改選後の初会議では、役員の法令遵守の徹底と来る11月開催の「豊かな海づくり大会」への対応を焦点に、外部講師から説明をいただいた。冒頭、中根組合長は「運営委員長は取扱に特に注意すべき個人情報等に接する機会が多いので、組合員や職員との適切な関係を維持するため研修内容を十分に理解、実践してほしい。全国豊かな海づくり大会には漁業者を代表して招待されるので対応をお願いする」と挨拶した。

コンプライアンス研修では、全漁連参事の杉田成氏が「JFグループにおけるコンプライアンスについて」と題し、資料に基づき「役員の役割と責任」、「コンプライアンスとは何か」、「不祥事について」及び「コンプライアンスの定着に向けて」の4項目を詳細に説明した。

第43回全国豊かな海づくり大会については、県の安楽室長補佐が大会計画の概要や参加の案内について説明した。

委員長の皆さんには、地区漁業の円滑な運営、県漁協の経営の安定に貢献いただきたい。

7月31日、第4回委員会がウェアで開催され、県庁舎本館会議室に大分海区の委員5名が出席した。

第1号議案では、周防灘における小型機船底びき網漁業手繰第3種漁業の操業始期について、共通海域においては「11月10日」から、専管海域においては「10月8日」、福岡県が「11月8日」、山口県が「11月10日」からとすることに決した。いずれも従前どおりの期日となった。

周防灘3県連調委を開催

第2号議案では、周防灘における小型機船底びき網漁業手繰第3種漁業とふぐ延なわ漁業の操業調整に関する委員会指示を発出することに決した。内容は、11月10日から30日までの間、適用海域における操業を規制するもの。小型機船底びき網漁業手繰第3種漁業は日曜日を除く毎日午前6時30分から11時30分の間、ふぐ延なわ漁業は毎日午前11時31分から午後7時までの間、操業できない。

事業担当理事を選任

令和6年度 第5回理事会

7月30日、運営委員長会議に引き続き令和6年度第5回理事会を開催した。

第1号議案「組合員の異動について」では、准組合員への新規加入8人、譲渡加入1人について承認した。

第2号議案「事業担当理事の選任について」では、下記のとおり原案を承認した。

第3号議案「新水産物加工処理施設設備他に伴う各種規程類等の改定・改正について」では、令和6年度に新加工場が完成すること等を踏まえ公認会計士監査人の指導に基づく改正

を行うもので、原案のとおり承認した。

第4号議案「貸出金利優遇制度に関する優遇率基準表変更について」では、漁業規模が大きな組合員だけでなく一般的な組合員の方も優遇が受けられるように、組合利用度が最も高い購買等の供給状況の中に、新たに製氷供給額と利用事業も含めるとし、適用金額も変更するもので、原案のとおり承認した。

第5号議案「マネロン対策にかかる理事会への取組状況報告について」も原案を承認した。

販売事業(6名)		購買事業(2名)		信用事業(2名)	
田中浩二	豊前海	近乗美信	東国東	本庄 新	本店
濱松豊信	東国東	廣戸英吉	北海部	鳴海盛彦	県南
中山公夫	別府湾	—	—	—	—
須川直樹	北海部	—	—	—	—
疋田一則	県南	—	—	—	—
嶋原隆之	県南	—	—	—	—

JFMB大分県会議を継続

第5回理事会終了後、JFマリンバンク大分県会議があった。

農林中央金庫からマリンバンク基本方針と大分県漁協の財務状況、信用事業譲渡の考え方について詳しい説明があり、今後の県会議の取組について検討した。この結果、本年度は以下の4点を中心に取り組むことで合意した。

- ①大口不良債権(24年度版)上位20先の債権回収
- ②組織再編(信用事業譲渡も含む)に向けた協議
- ③水産物加工処理施設の実績・見込報告等
- ④その他漁協収支・財務基盤を改善させる方策等(増資、手数料見直し等)



本年度の通常総会で選任された役員は、大分県会議終了後に別府市のホテル望海に集い結団式を行った

水 研 だ よ り

長期漁海況予報

大分県農林水産研究指導センター水産研究部(資源増殖チーム)は、本年8月から12月までの海水温、漁模様の見通しを発表した。概要は以下のとおり。

○今後の海況の見通し

■黒潮

・都井岬では、離岸傾向で推移し、その後接岸傾向となるでしょう。足摺岬沖では、離岸傾向で推移し、一時的に接岸することがあるでしょう。

■沿岸水温

・沿岸水温は、「平年並」～「高め」で推移するでしょう。

○今後の漁況の見通し

■マイワシ

・豊後水道南部への来遊量は、前年を上回るでしょう。

(2023年8～12月:604トン)

・8～12月は被鱗体長12～18 cm前後の0歳魚(2024年級群)が主体となるでしょう。

■カタクチイワシ(成魚)

・豊後水道南部への来遊量は、前年を上回るでしょう。

(2023年8～12月:208トン)

・8～12月は被鱗体長5～10 cm前後の0～1歳魚(2023～2024年級群)が主体となるでしょう。

■ウルメイワシ

・豊後水道南部への来遊量は、前年を上回るでしょう。

(2023年8～12月:2,009トン)

・8～12月は被鱗体長10～20 cm前後の0歳魚(2024年級群)が主体となるでしょう。

■マアジ

・豊後水道南部への来遊量は前年並～上回るでしょう。

(2023年8月～12月:745トン)

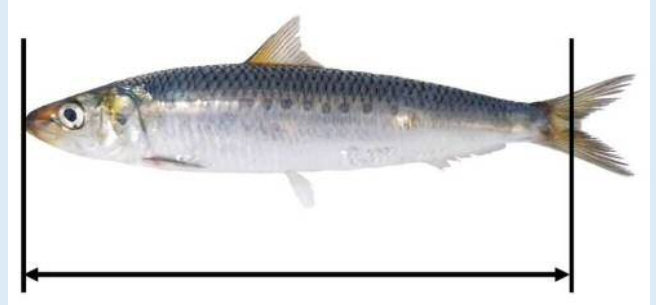
・尾叉長10～15 cm前後の0歳魚(2024年級群)が主体となるでしょう。

■サバ類

・豊後水道南部への来遊量は前年並でしょう。

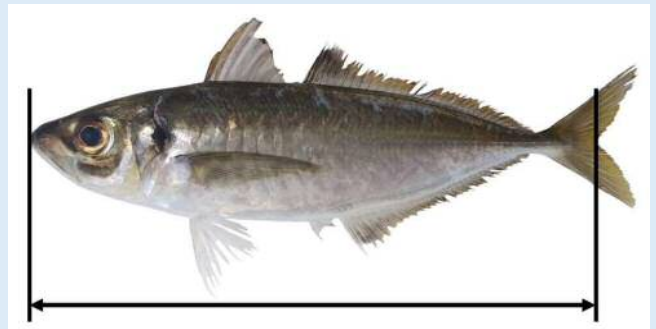
(2023年8～12月:118トン)

・尾叉長20～30 cm前後のマサバ0～1歳魚(2023～2024年級群)が主体となるでしょう。



被鱗体長 例:マイワシ

体の前端から尾びれの鱗で覆われている部分の後端までの直線距離



尾叉長 例:マアジ

体の前端から尾びれ湾入部内縁中央(くびれている部分)までの直線距離

詳細は、大分県農林水産研究指導センター水産研究部のHP「長期漁海況予報」まで↓

<https://www.pref.oita.jp/site/nourinsuisan/gvokaikyou-chouki.html>

水産研究タイムリー情報

漁業学校の講義を行いました

8月7日 北部水産グループ 養殖環境チーム

新しく漁業に従事する方の知見を深めるため、県では漁業に関する知識や技能の習得を支援する漁業学校を開催しています。その一環として、8月1日に赤潮に関する講義と簡易採水器の作成が当グループで行われました。

赤潮研究の担当者が2名の受講者に対して講義した後、当グループの30トン水槽で受講者が自作した採水器を使って任意の水深から採水し、水質を測定する方法などを学びました。



ブリの8月採卵を実施しました

8月8日 水産研究部 企画指導担当

県では、天然ブリの産卵期より半年遅い8月に採卵し生産した人工種苗を活用して、養殖ブリの出荷量が減少する端境期(4～6月)を解消する取組を実施しています。

当部の陸上水槽で昨年12月から日長や水温を調節して親魚を仕立て、8月1日に約100万粒の採卵に成功しました。ふ化した種苗は大分県漁業公社で育成後、来春には県下のブリ養殖業者に引き渡される見込みです。



○水産研究タイムリー情報は、大分県のHP掲載分から作成しました。↓

<https://www.pref.oita.jp/site/nourinsuisan/timelyjyouhou2017-3.html>

令和6年 9月14日(土)

第41回

第41回 関の鯛つりおどり大会

開催場所 佐賀関市民センター(ふれあい広場)

開会式...18:00~

懸賞おどり・一般おどり・表彰式...18:20~20:00(終了)

参加者募集

1部:懸賞踊りの部...1チーム10人以上
2部:一般の部...1人から自由に参加可第6回「関の鯛つり唄」
日本一大会入場
無料

開催場所 佐賀関市民センター集會室

受付...9:00~ 大会開始...10:00~

第30回 WOC大漁おし初め大会

開催場所 佐賀関漁港(県漁協荷捌施設前)

受付...11:00~ 開会式...12:00~

参加チーム募集

男子の部...1チーム4人、
2人乗りの部...1チーム2人

協賛

第43回 全国 豊かな海づくり大会
~おんせん県おおいた大会~

令和6年11月10日(日)開催

関の鯛つりおどり大会

一本釣りの豊漁を願って唄い、おどり継がれた
「鯛つり唄」と「鯛つり踊り」

主催:NPOさがのせきまちづくり協議会 問い合わせ先 Tel.097-575-2000

主管:関の鯛つりおどり大会実行委員会、関の鯛つり唄日本一大会実行委員会 共催:大分県漁業協同組合佐賀関支店

後援:大分市、大分県、道の駅さがのせき、大分合同新聞社、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送

サカナをたべれば
幸福が見えてくるウオ
メシ

太刀・そばセット

銀たちの郷

JFおおいたの人気店「銀たちの郷」である。国東方面の昼食では頻繁に利用したいのだが、相変わらず満席で泣かされることも多い。

先日、漁業公社国東事業場の落成式の帰路、少し早い昼飯に立ち寄って食べたのがこれ。太刀魚の三重と蕎麦がセットになって1200円。適量で味も秀逸だった。

手前味噌が過ぎないよう課題も指摘するなら「刻み海苔」。もう少し色の良い海苔が欲しい。「量が半分でもいいから」とは組合長談。

編集後記

盆前後から超多忙な日程が続く。

紙面でも紹介した「豊かな海づくり大会100日前イベント」に始まり、「JFおおいた蒲江加工センター竣工式・祝賀会」は県漁協にとって一大行事であった。これに県知事要望や農林水産大臣との意見交換が重なり、さらには業務を受託した漁港漁場協会の監査、理事会、定時総会の事務がボディブローのように効いてくる。組合長や参事は、その合間に台湾フェアにも参加して大分の養ブリをPRしてきた。超人的だ。(次号に紹介できれば...)

さらに最悪なのは人災と天災。ハモの加工で致命的な遅れが発生、組合長陣頭に休日返上で深夜まで作業となった。発注者に深くお詫びするとともに、受注決定のプロセスを見直さねばならない。そして台風10号だ。月末に迫った最接近による影響が最小限になるよう祈りながら、筆を置く。



今日はその後お仕事ですか?

JFおおいた「おさかなチャンネル」

<https://www.youtube.com/@JF-ui6dz>

コラボの経緯は森さんチャンネルで公開中! そちらも是非ご覧ください。

<https://www.youtube.com/@sakanayanomori>

おおいたオシャベリ食堂SEASON2、ついに始動です。

今回は別府ちゃんやんが魚屋の森さんに、かぼすヒラメとおおいた和牛のカルパッチョを振る舞います。捌くのに苦勞する別府ちゃんやんの奮闘ぶりを楽しんでください。

魚屋の森さんチャンネルとコラボ実現!

JFおおいた「おさかなチャンネル」